

株式会社 アルシュ arche

arche Journal



アルシュ ジャーナル

住まいに関するあれもこれも・・・

いろいろなお役立ち情報をまとめてお届けします！！

目次

400℃の法則 自分でできる開花予想	1
街のシンボルと耐震 通天閣 大阪のシンボルを守る耐震工事 京都タワー 耐震性に優れた塔身部分の仕掛け	2
なまこ壁 蔵の街にある風景	3
マーキング 見覚えのない文字 書いてませんか？	3
GPSの軌跡 世界一大きな落書き&メッセージ	3
最新“鍵”事情 鍵穴はもう古い！？	4



あっという間に3月です。
年度末をむかえ、忙しい方も多いのではないのでしょうか。

暖かくなってきたと思ったら、急に冬へ逆戻り・・・
「三寒四温」という言葉がぴったりの気候が続いています。

この三寒四温という言葉、本来は冬に使われる言葉というをご存知ですか？
三寒四温は冬の季語で、一般的に2月の時候の挨拶として使われます。

ですが、最近ではTVやラジオでも春先に使われることが増えています。
元々、中国大陸の冬の寒暖の周期を表す言葉がそのまま日本にも伝わりました。
そして冬の言葉として使われてきました。

しかし、実際に日本で三寒四温の現象がおこるのは真冬ではなく春先なのです。
そんな理由もあり、春先に使われるようになった「三寒四温」という言葉。

時代の流れとともに言葉の意味が変化していくことは良くありますが、
三寒四温は、やっと本来の意味として使われるようになってきたみたいですね。



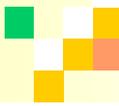
400℃の法則 自分でできる開花予想



平均気温の積算・・・約200℃
最高気温の積算・・・約300℃
2月1日から3月1日までの大阪の気温。ちょうど半分位ですね♪

日ごとに暖かくなり、桜の開花が待ち遠しい季節になりました。春に咲く桜の花芽は、前の年の夏に形成されたあと休眠状態に。一定期間低温にさらされることで眠りから覚め（休眠打破）、開花の準備を始めます。そして春を迎え、暖かさで成長（生成）し、ピークを迎える3月下旬ごろに開花するという仕組みです。そして気になるのが桜の開花予想日ですね。みなさんでも開花日が予想できる方法があるのですよ。

桜は、休眠打破が終わったころの2月1日から毎日の平均気温を足して、その合計が400℃前後になった頃に開花を迎えることが多く、この現象を「400℃の法則」と言います。日々の気温を足していく積算気温は、植物の成長と深い関係があります。2月1日以降の毎日の最高気温を足して、その値が600℃になると開花する「600℃の法則」も…。こちらの法則は、最高気温を足していくだけなので、開花予想はしやすいかも♪



街のシンボルと耐震

どんなに難しくても、それが建物にとって最適な工法であれば何としてでも実現するという強い思い。その強い思いがあったからこそ、姿を変えることなく、街のシンボルは存在し続けています。

* 通天閣 大阪のシンボルを守る耐震補強工事



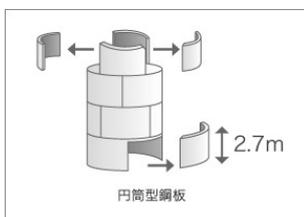
大阪のシンボル“通天閣”は、今や屈指の観光地。日本だけでなく世界中から毎日たくさんの方が訪れます。その通天閣は、単なる大阪の観光名所というわけではありません。初代通天閣（1912年～1943年）には大阪の繁栄、二代目である現在の通天閣（1956年完成）には戦後の復興という願いが込められているのです。その願いを守り続けるために、2014年8月から耐震補強工事が行われました。一般的な耐震補強工法では外観が変わってしまう。それでは大阪のシンボル通天閣ではなくなってしまうことになる…。そこで考えられたのが脚部改修という工法でした。建っているタワーの脚を切断して免震ゴムを挿入するという突拍子もない工法。この工法は世界的にも例がないのだとか！耐震補強の工期は約9か月。当初はこの期間、通天閣は営業を行わないという計画でした。それでは、賑わいのある街の灯を消してしまうことになる、営業を続けながらの工事を実行したのです。地上8mの位置に工事用ステージを組み、通行人が行き交う頭上での工事。落下物防止などの安全対策は何重にも施し、時間帯に応じて作業内容を細かく設定する綿密な工事計画と立て、実行されたのです。

通天閣の耐震工事には、さらなる難問が…。通天閣には、入場ゲートや展示スペースなどがある低層階と展望台との二層構造になっていて、渡り廊下で連結されています。地震が起こった時、ふたつの建物の揺れ方が異なると建物に不自然なひずみが生じ、崩壊する危険があります。そこで思いついたのが電車の車両の連結部分。揺れの異なるふたつの車両をスムーズにつなぎ合わせている仕組みを取り入れたシャバラ構造を施しました。それは、脚部改修より難しい工事だったのだとか。



この工事を期に、初代通天閣の天井画も復活！免震装置があるのわかりますか？

* 京都タワー 耐震性に優れた塔身部分の仕掛け



【モノコック構造】

地下3階から地上9階までを土台に、すらりとした塔が伸び、その上に円盤状の展望室がある京都タワー。海のない京都の街を照らす灯台をイメージしたもので、1964年に誕生してから50年を超えた今でも街を見守り続けています。塔身部分と展望室を支える土台にかかる重さは、なんと約800トン！秒速50mを超える台風や阪神・淡路大震災にも耐えてきた京都タワーの構造には、鉄骨が一切使われていないのだとか！京都タワーは、設計当初から地震や台風などの大きな外力に安全に抵抗させるために、他の一般建築物がもつ設計安全率を2倍以上も上回ることを想定されていました。そこで、展望室を支える塔身部分は、モノコック構造（応力外皮構造）が取り入れられたのです。

それは、厚さ12～22mmの特殊鋼板を円筒につなぎ合わせたもの。骨組（鉄骨）はなく、筒状の塔体で力を受け止め、全体を支えるという仕組みです。この構造は、飛行機や船などに使われるもので、塔状建築物では初めての試みでした。京都タワーが耐えられる風速は、なんと90m/秒！まるで竜巻のような風の強さです。あらゆるものが吹き飛ばされてしまう風速にも耐える設計なのです。タワーへの仕掛けは、構造だけでなく内装にも工夫が施されています。2007年の改装をきっかけに、青で統一された落ち着いた色のある展望室に。そして、より快適に過ごせるような音楽が奏でられています。その音環境を守るために、床はカーペット敷きになっているのですよ。みなさんお気づきでしたか？

なまこ壁 蔵の街にある風景



なまこ壁通り（松崎/静岡県）
江戸時代の建物が建ち並び情緒あふれる街です

日本には蔵の町と呼ばれるところもいくつかあります。そこでよく見るなまこ壁。この壁には美しさだけでなく、ちゃんとした目的があったのです。

火事が頻繁に起こっていた江戸時代には江戸や大阪で町屋を土蔵造りにすることが奨励されていました。特に明暦の大火後には御触書（おふれがき）までが出されたほど。それほど土蔵造りは耐火性に優れていたのです。蔵は大切な物を収納する場所。火事が起こって大切な物が焼けてしまわないように、当時の蔵は土蔵が主流でした。でも土壁は水に弱く、雨が降ると流れてしまいます。そこで土壁

の上に漆喰を塗ることで、雨に流されることを防ぎました。ただ、漆喰も水をたくさん吸収する素材。本来は、直接雨が当たる場所には不向きなのです。そのため、雨がかりやすい建物の下の部分には、板を貼りつけていました。でも板は火に弱い。そこで生まれたのがなまこ壁だったのです。平面部分を平瓦で覆い、目地を漆喰で分厚く覆う。盛り上がった漆喰の形がなまこに似ているからついた名前なのだから。耐火性・防水性に優れていたことから、蔵にも多く用いられた様式でした。見た目も美しいなまこ壁。現代でいうタイル貼りのようですね。

マーキング 見覚えのない文字 書いてませんか？

ある日突然、玄関やポストに文字や記号のようなものが書かれていたことはありませんか。誰かのイタズラ？いえいえ、もしかするとそれは訪問販売員や空き巣が書いたマーキングかもしれませんよ。家にいると時折セールスマンがやってくる場合があります。居留守や門前払い、玄関先で話を聞く、家の中まで通すなど対応はさまざま。この何気ない行動で、彼達に情報が漏れている可能性があるのです。話しが済んだ後、セールスマンがすぐに帰るかどうかが要チェック！もしす

ぐに帰らずに玄関先でゴソゴソしていたらマーキングをしている可能性があります。あらかじめマークの意味を決めておいて、その家の情報を仲間内でわかるようにしているのです。もちろん留守にしている時間帯もです。文字や記号ではなく、シールが貼られている場合もあります。ガスメータや湯沸かし機などに印されていることも…。そういう物が書かれていないか日頃から気をつけることが大切です。もしマーキングらしき物を見つけたら、すぐに消してくださいね。

マーキングとその意味（一例）

◎	契約成立
AP	アボ有（見込み有）
×	無理・諦めた
M・W	男性・女性



“SM301018”だと
独身・男性・30代
10時から18時は不在
という意味になるとか

【画像参照】カナナ整骨院

<http://ka-n-na.com/2008/09/post-0ef9.html>

GPSの軌跡 世界一大きな落書き&メッセージ



ステゴザウルス

走行距離…44.4 km

所要時間…1時間56分

他にもたくさんの作品があります

画像参照：Sketchbook of a GPS Artist
<http://gpsdoodles.com/>

左の地図、「誰、地図に落書きしたの」とお母さんの声が聞こえてきそうですね。この落書き、恐竜好きの女の子が書いた落書きと思いきや、自転車に取り付けたGPSの軌跡で描かれたマップアートなのです。自転車から降りることなく、一筆書きで描かれています。これは、カナダ出身のアーティストStephen Lundさんの作品。ある日、GPSの軌跡がたまたま動物に見えたことから始まったのだとか！今にも動き出しそうな恐竜ですね。

日本にも負けず劣らず、世界一大きな作品を描いた人がいたのです。キャンパスはなんと日本列島！やっさんことタカハシ・ヤスシさんは、約6カ月間、車や自転車をを使って、北海道から九州まで旅をしました。その移動距離はなんと約7000km！ギネスブックにも登録されているやっさんの作品とは…。

やっさんが描いた軌跡の模様は、こちら

【手紙〜Letter】https://www.youtube.com/watch?v=Mv-Q_-Cd_zg



最新“鍵”事情 鍵穴はもう古い！？

みなさん、今使っている鍵は、どういう形ですか？

山形にキザキザの鍵、鍵の表面に穴の開いているディンプルキー。どちらも鍵を鍵穴に差し込んで回すタイプです。今は、鍵を鍵穴に差し込んで回すなんていうのは古いのですよ。



シールタイプもあり、携帯や車のキーに付けての使用もできます。

【画像参照】YKK AP：電池錠ピタットキー
<http://www.ykkap.co.jp/products/door/electric/pitatto/>

【スマートキー】

車では一般的な「スマートキー」も住宅玄関向けのものが続々と開発されています。「扉に近づくと開く」・「ボタンを押したら開く」など、スマートキーは使い方が簡単なので、子供からお年寄りまで無理なく使用することができます。近づくと鍵だけでなく、扉も開く機能も！手がふさがっているときなどはとても便利です。

【カードキー】

オフィスなど不特定多数の方が使用する扉に使われていた「カードキー」や「テンキー」などの電子キー。ホテルに宿泊した時に使ったことある方も多いのではないのでしょうか。これら電子キーが一般住宅にも広まりつつあります。電子キーは鍵穴が無く、鍵穴をつぶされる心配がないので防犯性が高いのです。また、自動施錠機能がついているものも多く、鍵を閉め忘れる心配もありません。



【画像参照】三協アルミ：キーガル
<http://aiumi.st-grp.co.jp/products/entrance/keygal/>



【画像参照】キュリオ
<https://qrio.me/store/smartlock/>

【スマートロック】

更に鍵は進化し、スマートフォンで開閉ができる「スマートロック」なるものがあるのです。鍵の取り替えは不要で、今ある鍵の上から取付けるだけ。開錠・施錠はスマートフォンで行います。遠隔で操作したり、SNSで自分以外の人と共有することも可能です。「彼から合鍵をもらったの〜♪」なんてドキドキが、これからの時代には無くなってしまってもいいかもしれません。

アルシュでは、ご自宅を公開していただけるお客様を募集しております。ご自宅にお伺いしての写真撮影・インタビューなどに、ご協力をお願いします。また、楽しくなるようなひらめきや工夫でECOライフを楽しんでいる方のお話なども募集しております。その他ご質問や取り上げてほしい話題・住まいに関する疑問、我が家のペット自慢等々、是非お気軽にお寄せ下さいませ。皆様からの、率直なご意見・ご感想 お待ちしております。

新築・リフォーム・住まいのことなら！

株式会社 アルシュ arche

〒564-0063 吹田市江坂町1丁目9番17号

TEL : 06-6380-5420

FAX : 06-6380-5421

Email : arche@blue.ocn.ne.jp

<http://www.arche-arche.net>